

[令和7年度事務事業]

Ⅱ．事業目的の達成状況							
事業の成果や活動実績の測定							
11	定性的な成果目標						
	広く市民へ発達障害の正しい理解と対応方法や相談機関等の周知						
	当該目標を設定した理由	多くの人に発達障害を正しい理解してもらうことが、発達障害児者が地域・社会で安心して暮らすことへとつながるため。					
目標に対する実績	発達障害啓発週間講演会、パネル展示、ブックフェア、ブルーライトアップイベント、リーフレットの配架を実施した。						
12	活動指標	単位		実績		目標	
	講演会参加人数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	100	100	70	
			実績値	68	68		
	達成率	68%	68%				
当該指標を選定した理由	講演会に参加してもらうことにより、発達障害への理解を深める機会となるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	講演会の開催会場の定員を想定						

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	発達障害啓発事業	事業番号	011-285
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	319	374	495	429	345
	国支出金	159	187	247	214	172
	財 府支出金	0	0	0	0	0
	源 市債	0	0	0	0	0
	内 その他（ ）	0	0	0	0	0
	記 受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	160	187	248	215	173
14	人件費（b）	810	810	840	840	870
15	年間経費（c）=(a)+(b)	1,129	1,184	1,335	1,269	1,215

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	謝礼金	決算	44	22		決算			
			予算	44	22		予算			
	消耗品費		決算	0	0		決算			
			予算	10	5		予算			
	印刷製本費		決算	38	19		決算			
			予算	42	21		予算			
	イベントにかかる設置・撤去		決算	347	174		決算			
			予算	210	105		予算			
	会場等借上料		決算	0	0		決算			
			予算	39	20		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	① 講演会参加者人数		人	68	68
	② 上記①にかかる年間経費		千円	1,184	1,269
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	17,412	18,662
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	本事業は、市として担うべき発達障害の正しい理解と対応方法や相談機関等の周知を進めることで、発達障害児者が地域・社会で安心して暮らすことができるように支援することを目的としており、市の担うべき発達障害の啓発に係る費用として妥当であるとする。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本事業は、広く市民へ発達障害の正しい理解と対応方法や相談機関等の周知を図るため、「発達障害啓発週間」に講演会、パネル展示、ブルーライトアップ、ブックフェア等の啓発活動を実施している。啓発活動を実施することで、幅広く発達障害についての正しい理解等を促すことができ、発達障害児者の地域・社会での安心した暮らしに寄与することができている。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	発達障害への理解を広げるため、全国の自治体で啓発事業が実施されており、本市においても市が主体となって啓発活動を継続する必要がある。
	有効性	■ 高い □ 低い	